

ようじえんだより 2022年度3月号

十日町幼稚園 〒948-0083 十日町市本町西1丁目253番地
Tel:025-752-2068 Fax:025-752-2189

3月主題『信じて進む』

主題聖句：強く、雄々しくあれ。 ヨシユア記1章6節

☆ 0歳児：どんな時も神さまと一緒にいることを感じる。心も身体も満たされて過ごす。戸外に出て春の訪れを感じる。(保育者は)一人ひとりの成長した姿をしっかりと捉えて次年度につなげる。

☆ 1～2歳児：いつも一緒にいてくださる神さまに感謝する。友だちとの関わりを深め安心して過ごしながらか進級することを楽しみに待つ。季節の変化を感じ、春を見つける。(保育者は)一人ひとりの育ちをよく見てしっかりと次年度につなげる。

☆ 3歳児：いつもイエスさまが共にいてくださることを信じて新しい生活に希望をもつ。互いにありのままの姿を出し合い、受けとめ合いながら心ゆくまで遊ぶ。球根の芽の匂い、あたたかな眼差しなど、春の訪れを感じて喜ぶ。(保育者は)成長させてくださった神さまに感謝し、委ねて祈ると共に1年間の保育を省察する。

☆ 4～5歳児：神さま・イエスさまがいつでもどこでも一緒にいてくださるという安心感をもつ。自分の思いが満たされることと、友だちとの交わりに満たされるのが喜びとなって、次年度へと歩み出していく。(保育者は)子どもたちの育ちを神さまに感謝し、これからもイエスさまと共に歩んでいけるように、信頼と願いをもって委ねて祈る。次年度への連携を大切にす。

Q. これまで園長先生のコラムを拝見してきて、園長先生は“早期教育否定派”なのかなと思いました。早期教育ってそんなに悪いことですか？(6歳 Z太郎/V)

A. 子どもの主体性が担保されていれば、一概に早期教育は否定できないと思います。

Z太郎/Vさん、ご質問ありがとうございます。私は子どもの意思を無視した早期教育でなければ、決して否定はいたしません。特に芸術やスポーツにおいて、一流と呼ばれる人たちの多くは9歳までに始めているというデータがあるそうです。また勉強においても幼い頃からド

リルをして文字や数字などへの関心を深めて、いわゆる一流と呼ばれる学校や会社に入った人も知っています。ただし、これらは全て子ども自身が自発的に取り組み、しかも取り組む中でより夢中になっていったケースです。逆に子どもが求めていないのに親が熱心に早期教育を行い、結果として親子関係の修復が難しいほどにこじれてしまったケースも知っています。その経験と保育学を学ぶ中で、「無条件に愛されること→子どもの自主性、自発性、主体性を発揮できる環境にあること→ひとりよりも仲間と共に喜びを見出して遊ぶ」という流れが乳幼児期には大切だと感じています。園長:久保田愛策

年間主題『つながって～今、わたしを生きる～』

主題聖句：主がすべての災いを遠ざけて あなたを見守り あなたの魂を見守ってくださるように。あなたの出で立つのも帰るのも 主が見守ってくださるように。今も、そしてとこしえに。 旧約聖書 詩編121編7～8節